

自分もみんなも 明るく うれしく よかったね

2月号

# 新井中央小だより

ホームページ <http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/araich-s/otayori/index.html> No.246

メールアドレス [chuou@ac.city.myoko.niigata.jp](mailto:chuou@ac.city.myoko.niigata.jp)

2020(令和2)年2月28日

## 伝統をバトンタッチ

今年度の教育活動もあと1ヶ月弱となりました。もうすぐ6年生は卒業です。学校の新しいリーダーが6年生から5年生へバトンタッチされます。他学年も1つ学年が上がります。

先日、6年生と5年生によるマーチングバンド移杖式が行われました。数日後、5年生の保護者からお手紙をいただきました。5年生担任と校長宛てでした。私にとってとても嬉しいお手紙でした。お子さんの演奏を楽しみにしながらも不安と心配の入り交じった気持ち。息もびったり、迫力ある初めての演奏を聴いたときの感動。演奏後に我が子と交わした言葉に我が子と学年全体の成長を感じた喜び。・・・保護者としての思いが綴られていました。最後は、「伝統という名のバトンが、兄姉から弟へ、先輩から後輩へと引き継がれ、それがまだ見ぬ未来へとつながっていく。それはとても素敵なことで、その時間を一緒に共有できる私たちは、なんと幸せなんだろうとつくづく感じました。素晴らしい時間をありがとうございました。」という言葉で締めくくられていました。

手紙の最後のこの言葉に、私も正に同じことを感じました。子どもたちを中心にして、かかわる大人も一緒になり、みんなで心を合わせ、力を合わせ、教育活動を紡いでいく。その営みが伝統となり、子どもたちの未来、私たちの未来につながっていく。そして、かかわるみんなが幸せを感じていく。「子どもたちと一緒に生きるって素敵だな。」って、改めて思いました。

今朝、校門前でこんなことがありました。登校完了時刻が過ぎ、みんなが学校に入ったと思い、私も学校に入ろうとすると……。遠くに3人の子どもの歩いてくる姿が……。待っていて、声をかけると、6年生の2人(男の子と女の子)が説明してくれました。下学年の女の子が泣いて家に戻ろうとしていたから、声をかけて連れてきたとのこと。歩きながら、泣いている訳を聞いたり、励ましたりしてくれたようです。すぐには教室に入りにくいようだから、保健室に連れていくということで、2人にお願いました。2人のおかげで、すぐに保健室の先生、担任の先生が対応してくれて、問題解決ができたようです。私が2時間目に校内散歩をした時には、その下学年の女の子は、ニコニコ笑顔で元気いっぱい体育をしていました。なんと素敵な子どもたちなのでしょう。私は、これも伝統の力だと感じています。仲間が困っていたら、気付き、思いやり、行動する。「自分も みんなも 明るく うれしく よかったね」の合言葉を大切にした教育活動を続けてきたその伝統が子どもたちの姿で引き継がれていると感じています。

マーチング移杖式の校長あいさつで、私は、子どもたちにこう話しました。「6年生は、引き継いだ伝統を基にみらい学年らしさを加えて立派なマーチングバンドに成長しました。5年生も伝統プラスかがやき学年らしさを創り出してってください。」

伝統をバトンタッチしながら、その子らしさ、その学年らしさを大切に成長して欲しいと私は、願っています。

校長 加藤 晃